

経営協議会議事録
(令和3年度第2回)

令和3年6月26日(水)
13時00分から14時55分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長	玉手英利						
委員	相澤益男	井上弓子	小林裕明	里村正治	鈴木道子	西海和久	萩原なつ子
	飯塚博	出口毅	矢作清	根本建二	花輪公雄	瀬瀬晃	佐藤慎哉

列席者

副学長	林田光祐	羽鳥政男
監事	渡辺均	大森夏織

欠席者

委員	長谷川真理子	吉村美栄子
----	--------	-------

玉手学長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

- 1 経営協議会議事録（5月26日開催）の確認
玉手学長から、前回の本会の議事録（案）について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】第4期中期目標・中期計画について
花輪理事から、第4期中期目標・中期計画（素案）の策定及び中期計画評価指標について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・目標を策定して終わりではなく、重要なのは結果である。項目数が非常に多く、全て責任ある形で実施できるのか疑問である。全て同じ比重ではなく、どこに重点を置くかを検討して欲しい。
- ・地元企業が社会の変化に地元企業がついていけるか危機感を持っている。リカレント教育においては、ぜひ10年20年先の社会に対応出来る教育を提案してほしい。
- ・中期目標・中期計画は国民への宣言である。文科省に提出するためという受け身の姿勢ではなく、大学の将来ビジョンを明確にし、それを認めさせるというスタンスで取り組むべきではないか。
- ・一般向けに大学の目標をわかりやすくまとめたパブリック版を作成してはどうか。
- ・実際にどこまでできるか、何をやっていくかが重要である。現時点で目標のひとつひとつの文言に拘るのではなく、実際に取り組みながら具体的なものを積み上げていく方法でもいいのではないか。
- ・DXについては、学び方の多様性についても視野に入れていく必要がある。他大学との連携や単位互換についても検討してはどうか。
- ・地域連携は今後当たり前になっていくので、より具体的な内容を検討してほしい。

- 3 【協議】令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書の提出について
花輪理事から、国立大学法人法第31条の2の規定に基づき、令和2事業年度に係る業務の実績等に関する評価等を受けるため、国立大学法人評価委員会へ業務の実績に関する報告書を提出することについて、審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

- 4 【協議】令和2年度決算について
根本理事から、令和2年度決算及び目的積立金の使途について審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

- 5 【協議】新型コロナウイルス感染症患者への診療業務等に係る手当の特例を定める規程の一部改正について
羽鳥副学長から、厚生労働省補助事業「新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業」により、医学部附属病院において新型コロナウイルス感染症対応に従事した職員へ一時金を支給するため規程の一部改正を行うことについて審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 6 【報告】令和2年度監事監査結果報告書について
渡辺監事から、議題に関して報告があった。
- 7 【報告】Annual Plan2021 について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 8 【報告】令和4年度概算要求について
玉手学長から、議題について、資料の閲覧による報告とする旨説明があった。
- 9 その他
玉手学長及び佐藤病院長より、以下2点報告があった。
 - 1) 山形市のワクチン大規模接種への対応状況について
 - 2) 本学でのワクチン職域接種対応状況について

次回は、令和3年9月22日（水）に開催することとなった。